



ソフトテニス部

- 男子団体 準優勝 廣岡 賢(3-7)・上田 佐(3-6)・小林亮央(3-6) **中国大会出場**
- 國本 凌(2-3)・北尾悠真(2-2)・坂本篤祥(2-2)
- 原 悠太(2-1)・平田 諒(2-7)・北尾涼花(2-4)
- 男子ダブルス 廣岡 賢(3-7)・坂本篤祥(2-2)組 準優勝 **全国・中国大会出場**
- 上田 佐(3-6)・小林亮央(3-6)組 ベスト16 **中国大会出場**
- 國本 凌(2-3)・北尾悠真(2-2)組 ベスト16 **中国大会出場**
- 女子団体 ベスト8 中村朱里(3-5)・義仲布多葉(3-3)・中田汐音(3-1)
- 芦谷美香(3-1)・荒西花梨(3-4)・前島志帆(3-7)
- 森田真帆(3-7)・山下優羽(2-1)・新田夏星(3-6)
- 女子ダブルス 義仲布多葉(3-3)・山下優羽(2-1)組 ベスト16 **中国大会出場**
- 荒西花梨(3-4)・前島志帆(3-7)組 ベスト24 **中国大会出場**

message ソフトテニス部男子の皆さんへ

「部活も頑張りたいので東高に行きたい。」と言ってた息子の高校最後の県総体の応援に妻と駆けつけた。選手と監督、応援する部員、保護者、OBの心も一つになる中、次々と強豪を撃破し、準優勝。7年ぶりとなるインターハイ出場を果たした。選手の皆さん、数々の感動をありがとう！一、二年生はこれに続き、東雲魂で全国選抜、インターハイ出場と新たな伝統を築いて欲しい。(保護者 廣岡晴彦)



message ソフトテニス部女子の皆さんへ

中学から始めたソフトテニス。一生懸命が取り柄の娘はほとんど部活を休むことなく通い続けました。日焼け止めを塗りながら紫外線と真っ向勝負した毎日は楽しかったこと、悩み苦しみがいたこと、悔し涙を流したこと等、数々の思い出として一生心に残る充実した日々となることでしょう。

今日まで共に頑張ったメンバー、ご指導いただいた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。3年間、本当に有難うございました。(保護者 朱里の母)



ビームライフル部

- ビームライフル団体 優勝
- ビームピストル団体 優勝
- 3種目3名団体 準優勝
- ビームライフル男子立射60発 高藤 晃一(1-1) 準優勝 **4名とも全国大会出場**
- 大旗玲至(2-7) 第6位
- 井上遥友(1-6) 第7位
- 楠城聖生(1-3) 第8位
- ビームピストル男子立射60発 田中 蓮(2-6) 準優勝
- 坂田匡弥(1-3) 第3位
- 楠城聖生(1-3) 第5位
- エアライフル女子立射60発 田中綾音(1-5) 優勝 **全国大会出場**
- 石名 萌(2-1) 第3位 **全国大会出場**
- ビームライフル女子立射60発 石名 萌(2-1) 第2位
- 田中綾音(1-5) 第3位
- ビームピストル女子立射60発 坂田光穂(2-2) 優勝

message ビームライフル部の皆さんへ

部として活動し始めてまだ二年目のビームライフル部です。去年初めて参加した大会の個人成績はあまり良くなかったですが、徐々に上達してきているように思われます。今年からは部長になったようなので、部をうまくまとめていけるように頑張ってください。(保護者 大旗玲至の母)

卓球部

- 男子団体【第3位】 2回戦 3-0(米子)、準々決勝 3-1(倉吉東)、準決勝 0-3(米子高専)
- 男子シングルス 高塚翔太(2-4)、岸本康汰(2-7)、野村和生(1-6) ベスト32
- 女子団体【ベスト8】 2回戦 3-2(米子南)、準々決勝 2-3(倉吉北)
- 女子シングルス 榎 琴音(3-7) ベスト8
- 高田 茜(3-4) ベスト32
- 女子ダブルス 榎 琴音(3-7)・高田 茜(3-4)組 ベスト16

message 卓球部女子の皆さんへ

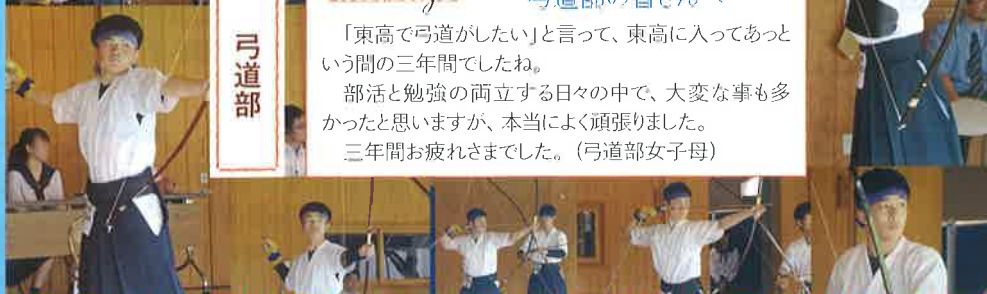
鳥取東高等学校に入学し卓球部に所属したたくさんの仲間に囲まれて毎日を楽しみ過ごしている娘は、この3年でたくましく成長したと感じています。文武両道で頑張る、1年生ではインターハイに出場、2年生では国体の予備登録選手として帯同させてもらえ、今回の3年生では、卓球部女子皆で中国地区大会(広島県)へ行く事が出来ます。一緒に頑張る努力出来る仲間の存在は宝だと思います。これからも仲間を大事にしながらか頑張ってください。(保護者 榎 智子)



message 弓道部の皆さんへ

「東高で弓道がしたい」と言って、東高に入ってあっという間の三年間でしたね。部活と勉強の両立する日々の中で、大変な事も多かったと思いますが、本当に頑張りました。三年間お疲れさまでした。(弓道部女子母)

弓道部



水泳部

男子 総合 2位

- 400mメドレーリレー 2位
- 400mフリーリレー 1位
- 800mフリーリレー 1位

- 大崎海翔(3-1) 200mバタフライ1位、100mバタフライ2位
- 本田航平(3-2) 200m平泳ぎ1位、100m平泳ぎ1位
- 山本 資(3-5) 400m個人メドレー 5位
- 難波将大(3-6) 400m個人メドレー 4位、100m背泳ぎ8位
- 田中海地(2-2) 200m平泳ぎ3位、100m平泳ぎ3位
- 猪山智久(2-3) 200m背泳ぎ6位、100m背泳ぎ7位
- 大原範之(2-3) 1500m自由形8位
- 大西 翔(2-3) 200mバタフライ4位
- 吉尾 祥(2-6) 200m個人メドレー 6位、100m平泳ぎ8位
- 細田賢汰(2-7) 200m背泳ぎ7位、100m背泳ぎ5位
- 北本樹輝(1-1) 200m自由形7位
- 岡垣 健(1-5) 200m個人メドレー 4位、1500m自由形6位
- 高田暖大(1-5) 200m個人メドレー 8位

女子 総合 2位

- 400mメドレーリレー 2位
- 400mフリーリレー 1位
- 800mフリーリレー 1位

- 岸本麻央(3-4) 200m個人メドレー 4位、200m背泳ぎ4位
- 内田英里(3-5) 100m背泳ぎ8位
- 小西乃愛(3-6) 200m平泳ぎ2位、100m平泳ぎ3位
- 奥田虹聖(2-2) 800m自由形3位、200m個人メドレー 5位
- 山本菜月(2-4) 200m自由形2位、100m自由形1位
- 森田紗和(2-7) 800m自由形4位、400m自由形5位
- 本田志帆(1-1) 400m個人メドレー1位、200m個人メドレー 2位
- 澤 杏沙(1-2) 200m背泳ぎ7位、100m背泳ぎ6位

掲載されている生徒は、中国高等学校選手権水泳競技大会(7/19~7/21 山口市)に出場

message

水泳部の皆さんへ

東高に入学する目的の一つであった水泳部に入部して早三年が過ぎようとしています。この一年は、前年の三年生から部長を引き継ぎましたが、あまり部長らしい事も出来ず、他の部員に迷惑をかけていたと思います。最後の高校総体では、個人の成績だけでなく、チームとしても先生方やチームメートと喜びを共有できる結果を得られるように悔いなくやり遂げて欲しいと思います。(保護者 大崎勝也)

日本ランキング
高校の部 1位!!(最高成績)

本田 航平さん(3-2)を
キャッチアップ!!

本田さんは幼少の頃から水泳を始め、数々の記録を塗り替えてきた怪童!!と呼ばれたスイマー。中学入学後は平泳ぎの中国地区チャンピオンとして全国大会にて数々の成績を残してきました。鳥取東高入学後、さらに飛躍し日本水泳連盟ジュニアエリートAを突破し、日本代表としてシンガポール遠征を含む国内外の大会で活躍中です。2020年東京五輪で世界の強豪を相手に活躍する姿を思い描き、現在ジャパンオープン、日本選手権を連戦中の本田さんを取材しました!!



楽に強気で
本田 航平

Q 試合前に気持ちを高めるために必ずする事は?

A 自分がいいタイムを出すイメージをする。

Q 水泳以外にやってみたいスポーツは?

A サッカー。

挑み続ける本田航平さんに聞いてみました!

Q 自分を(精神的、肉体的両面で)回復させる方法は?

A 友達と温泉に行くこと。

Q 休日は何をしている?

A 過去の試合の泳ぎを見る。

Q オリンピックに向けての抱負を!!

A 日本の平泳ぎはとてもレベルが高いけれど、高校生でもやれるんだぞってことを証明できるようがんばります!!



高校総体・各種大会
輝く瞬間

体連弓道

いのも輝け

卒業生からのメッセージ

6月に**教育実習生**としてこられた
お二人からメッセージをいただきました!!

東京学芸大学 教育学部 中等教育教員養成課程 書道専攻 **小 畑 梨 奈 さん**



母校である鳥取東高校で教育実習を経験させていただくことができ、とても感謝の気持ちでいっぱいです。久しぶりの母校に足を踏み入れ、授業やテスト、部活動など懐かしい高校時代の記憶が蘇りました。

高校時代は書道部に所属し、書道パフォーマンスや作品制作に没頭した日々を過ごしました。その書道部で学んだことをもっと深く学んでいきたいと思い、大学でも書道を続けています。また、お世話になった先生方の影響から教師を目指そうと思ったことも、今の大学に進んだ理由です。大学では同じように書道の教員を目指す仲間から多くの刺激をもらい、日々勉強になることばかりです。たくさんの刺激を受けて、人間として成長していきたいと思っています。高校時代に出会った人や経験したことは私にとってかけがえのないもので、地元を離れて生活する中で心の支えになっています。後輩の皆さんも東高で過ごす時間を大切に、一歩ずつ前へ進んでいってください。



展覧会 会場風景

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科 **北 脇 亮 子 さん**

こんにちは！この度教育実習生として母校である鳥取東高校で教育実習をすることが出来て、感謝の気持ちでいっぱいです。母校に帰ってきて、多くの生徒の笑顔ややる気に私自身パワーをもらい、私もこうして高校生活を送っていたのだと懐かしく感じました。

大学ではスポーツ科学科に所属し、主にスポーツに関することを学んでいます。私がこの学科を選んだのは、高校生の時、将来の夢がありその夢を叶えるための勉強が出来ると思ったからです。部活動では女子長距離に所属し、入学当初から駅伝で「日本一」を目標に毎日練習しています。嬉しいことばかりではなく苦しいことの方が多いですが、女子長距離創設10年目の節目の今年、まだ成し遂げたことのない日本一を目指します。

在校生には、今しかない高校生活を思いっきり楽しんでほしいです。勉強や部活動、将来について悩むことも、友達と全力で何かに向かっていけるのも今しかないと思います。今だから悩むのだと思います。私が高校生の時もたくさん悩みました。でも悩んだからこそ今の自分があります。どうしたらいいのかわからなくなったら一人で悩まず、周りの先生方に相談するのもいいと思います。きっと少しずつ自分の道が開けてくるのではないのでしょうか。どんなときも笑顔を忘れず過ごしてください！



文化部大会結果

放送部



第66回NHK系全国高校
放送コンテスト鳥取県大会
東部地区予選
朗読部門
坂本美伽恵 (2-2) 奨励賞

近畿高総文祭出場

藤井 希望 (1-7) **県大会出場**
創作ラジオドラマ部門
「Lost Children」 **県大会出場**

将棋同好会



第43回
全国高等学校
総合文化祭将棋部門鳥取県予選大会

・男子 個人 辻 侑也 (2-6) 3位
近畿高総文祭出場

・女子 個人 澤田 涼風 (2-1) 優勝
全国高総文祭出場
西尾愛花里 (2-3) 3位
近畿高総文祭出場

吹奏楽部

第66回
鳥取県高等学校総合音楽会
独奏の部(フルート)
岡田 彩花 (2-2) 2位(優秀賞)



邦楽部



第66回鳥取県高等学校総合音楽祭
団体 優秀賞
近畿高総文祭出場

演劇部



第72回鳥取県東部地区高等学校
演劇発表会 出場

進路部から保護者の皆さまへ



進路部長

矢部 敦子

2018年度進路状況の概要

まず昨年度の進路状況について、その概要をお伝えします。

進学については、鳥取大学の49名をはじめとする国公立大学155名(前年度144名)、私立大学345名(同319名)、短大21名(同25名)、専修学校等63名(同40名)という合格者数でした。難関国立大学については、大阪大学3名にとどまり、厳しい結果でした。一方で、最後まで5(6)教科に取り組んだ生徒が多く、地方国立大学の合格者数を伸ばしました。

私立大学の合格者数も増加しました。昨年度入試より、私立大学の合格者の絞り込みが厳しくなり、特に都市圏の私立大学は文系学部を中心に現役合格が難しくなっていました。そんな中、今年度は京都産業大学、近畿大学で合格者数が回復しこの結果につながりました。しかし依然、合格者の絞り込みが厳しいことに変わりはなく、難関と呼ばれる大学でなくとも狭き門となっています。

短期大学合格者のうち7名が地元の鳥取短大。その他すべて近畿圏(三重含む)と中国圏の短大です。近年は、4年制への移行が散見されます。専修学校・各種学校については、看護・医療系への進学が大半です。

就職者は5人おり、全て公務員でした。5人の内訳は、国家公務員、大阪市消防、鳥取県職、鳥取市職、鳥取県警察各1人ずつです。授業への取り組みを大切にしながら、意欲的に公務員用の問題や適性検査の練習に取り組んできた成果だと思います。

(主な大学合格者内訳)

国公立大学(155名)			私立大学(345名)		
筑波大	2	広島大	7	慶応大	1
埼玉大	1	山口大	5	上智大	2
東京医科歯科大	1	徳島大	1	立教大	3
金沢大	2	香川大	2	早稲田大	2
静岡大	3	愛媛大	1	京都産業大	48
京都教育大	1	横浜国立大	1	同志社大	2
大阪大	3	大阪市立大	1	立命館大	3
大阪教育大	1	大阪府立大	3	龍谷大	21
奈良女子大	1	兵庫県立大	2	関西大	12
鳥取大	49	鳥取環境大	6	近畿大	30
島根大	24	岡山県立大	3	鳥取看護大	6
岡山県立大	9	その他の国公立大学	26	その他の私立大学	215

(2019年度入試合格者内訳)

	3年	既卒	計
卒業生数	281		
延合格者数	435	148	583
内訳	国立	99	23
	公立	31	2
	私立	226	119
	短大	19	2
	専修学校等	60	3

進路実現に向けた夏季休業期間の過ごし方

学年によって夏季休業をどのように過ごすべきか目的が異なります。ここでは、それぞれの学年でどのように夏季休業を過ごせばよいのか述べたいと思いますが、最終的に進路を実現するという目標はどの学年も同じです。ですから、1・2年生の皆さんは2年後、1年後にそれぞれがどういった夏を過ごすことになるのかも感じながら読んでいただければと思います。

まず1年生ですが、勉強については1学期の復習を十分に行い、できれば少し難しい内容の学びに何か1つでもいいので挑戦してください。例えば、英語版の小説を読んでみるなどです。そして勉強以外では、自分の興味関心がどこに向かうのか探ってみてほしいです。これは2学期に行われるコース科目選択のためでもあります。進路志望を決めるためにとても大切なことです。ではどうすれば自分の興味関心が探れるのかというと、できるだけ本を読んだり、地域で行われる体験学習やボランティアに参加したりと、学校があるときは忙しくてなかなかできないことにチャレンジし自分の適性や興味関心の方向性を探ってみてください。

次に2年生ですが、2年生も志望が決まりつつある人もいます。まだまだ迷っている人の方が多いでしょう。ですからこの夏で学部や学科について具体的に調べてみてほしいです。そしてできればオープンキャンパスへ行ってみましょう。これは複数行くとよいです。そして、勉強については弱点になりかけている教科を何とかする絶好のチャンスです。そのために一番良いのは教科書にしっかり取り組むことです。また、志望校がはっきりしてきた人はぜひその大学の入試過去問題を解いてみましょう。今の段階ではなかなか解けないとは思いますが、大学入試問題がどのようなレベルかを知ることは大切です。ぜひ挑戦してみてください。

最後に3年生ですが、勉強するのみとしか言いようがありません。寸暇を惜しんで勉強してください。その際、生活リズムが狂わないように注意をしましょう。これからは勉強するのと同じくらい体調管理が大切になります。体調を整えるには生活リズムを一定に保つことが最も重要です。1年生の時に言われたと思いますが、起きる、寝る、勉強を始める時間、この3点を常に固定することを心がけましょう。保護者の皆さまにはそこに加え、食事の時間固定に協力をしていただけるとありがたいです。そして、勉強の内容ですが、まず志望校の入試問題研究をし、各科目の基礎が完成しているか確認してください。特に苦手科目の基礎完成が不十分なら、まずはそこから始めましょう。ここが夏季休業中に出来上がれば、2学期以降成績を順調に伸ばしていけるでしょう。

以上が各学年でこの夏季休業中に行ってほしいことです。参考にしてください。また、学校でも夏期補講、3年生はサテライン、セミナーなども予定しています。自習室も常に開放していますので、そういったものも上手に利用しながら、自身の進路実現のため、この夏季休業という時間を有効に使ってください。

最後になりましたが、保護者の皆さまにおかれましてはこの期間を利用してぜひお子さまと進路についての話をしていただければと思います。一緒に考えていただき、応援をしていただければと思います。

今年度の進路部担当教職員

今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。

- 第1学年… 森岡佐知恵(1年2組担任)、徳田 千春(1年6組担任)、栗原 崇(1年7組担任)
- 第2学年… 古泉 真悟(2年2組担任)、松下 奈弥(2年4組担任)、大西 真理(2年7組担任)
- 第3学年… 松田 浩(3年3組担任)、富林 紀之(3年4組担任)、浅田 有希(3年6組担任)
- 進路部専任… 安治誠一郎(主幹教諭)、矢部 敦子(進路部長)、岡本 尚也(企画)、秦野 大樹(就職)、中村 啓輝(情報)、圓井 恵子(庶務)



相手の想いや考えを尊重した上で、自分の言いたいことも伝える「アサーティブなコミュニケーション」について、昨年の人権教育研修会で学ばせていただきました。最近、職場での業務が今まで以上に多忙な上、体調不良の職員も多く、ゆとりがない日々を送っていました。そんな中、ある職員の不満が爆発してしまい、どう対応すべきか悩んでいました。最初は「顔を合わせれば文句ばかり。自分達でどうしたら良いのか考えないのだろうか…」と不満に思い、自分から話しかけませんでした。ある日、その方の体調が思わしくないことを知り「調子が悪い事に気付かなくてごめんなさい。大丈夫ですか?」と声をかけました。「自分でもイライラして、他の職員や利用者さんにきつくなっているんじゃないか」と思っていました。と言われ、ご自分の想いや考えを話してくださいました。頭では理解していても、想いとはうらはらの態度をとってしまうこともあります。私自身も相手を思いやる気持ちを持つ余裕がなかったなあ、と反省しました。その方の笑顔が久しぶりに見られ、嬉しく思うと同時にアサーティブなコミュニケーションを図ることは本当に難しいと痛感している今日この頃です。

〈人権コラム「虹のしっぽ」について〉虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか?



若葉の頃

一年保護者 大村 匡由

今から三十二年前の四月、対面式で在校生代表として私は戦国武将の山中鹿之助が三日月に向かって「願わくば、我に七難八苦を与えたまえ」と祈った話を盛り込み新入生への歓迎の言葉を贈った。友人と東高の先輩として其れなりに格調のあるものにしなければと何度もし直したことを覚えている。

五月になり、部活と勉強の両立に軽く悩んだとき「成せばなる成さねばならぬ」のフレーズが浮かんだ。早速当時書道の先生であった柴山抱海先生の部屋に行き、先生にこの言葉を揮毫して欲しいと頼んだ。何日後かに先生に呼ばれ力強い筆致の「成せばなる」の言葉と優しい仏様が書かれた紙をいただいた。書の大家に謝礼も払うわけでもなく随分図々しかったと反省している。先生の書を表装し部屋に飾り、残りの高校生活を過ごしたことが懐かしい。

人生その節々で自分を支え、励ましてくれた言葉やフレーズが今まであり言葉の力で助けられたことが多かったような気がする。

将来の夢に向かって

一年保護者 森本 敦子

二人の娘たちが、憧れの鳥取東高に無事合格することができ、喜んだのも束の間、入学して早三ヶ月が経過しま

した。親子共々、毎日の弁当作りと通学生活に何とかやっとな慣れたところで、中学ではバレーボール部と、三年生の秋まで駅伝部でも頑張る、周りの人たちがより受験勉強が出遅れた感はあるりましたが、最後まで諦めずに本当によく頑張りました。

「高校生になっても何か運動は絶対にしたい。」と言っていました。バレー部ではなく、陸上部への新しい道を二人が自分たちで選択し入部して、本当に毎日楽しんで、充実した学校生活を送っているようです。

部活動で疲れ果て、学習が疎かになっってしまう面もあり、少し心配ですが、常に二人で声をかけ合って、時々喧嘩もしながら助け合い、頑張っている姿を見ると、双子でよかったなあ。と思う今日この頃です。

幼い頃から描いていた将来の夢はそれなりにありましたが、現在進行形で必死に探している途中だと思っています。自分たちの将来の夢に向かって、東高でしか学べないことにも積極的に挑戦し、多くの友人たちと様々な経験を積んで欲しいと思います。貴重な三年間の学校生活を通して、人としても大きく成長してくれることを願っています。親として、陰ながらサポートしていきます。

楽しい高校生活を！

一年保護者 山本 賢璋

他人の意見に左右されやすいが自分で決めた東高。入学後は勉強と部活の両立で中々大変そう。部活は小学校でかじっていた卓球で、部内の先輩や友達と優しく接してくれるので楽しんでいる様子。自分から話しかけるタイプではないので友達を増やすのは時間がかかりそう。私は「勉強しろ！」と言われず、「好きなことをしろ！但し自分の言葉、行動、判断に責任をもて」と言われ育ってきた。こちらも「勉強しろ！」とは言われないが目標に向かって頑張っている。勉強だけが全てじゃない。友達を作るには先ずは自分が殻に

こもらずに一歩前に出ることが大切。地元からの生徒がほほえないので否応なしに新しい友達との生活になるが、これもまた縁だと思つて多くの人と積極的に関わり多くを学んで欲しい。至る所にアンテナを張り巡らせていれればきつと心に響く一言や行動に出会えるはずだ。そして高校での恩師や良き友との出会いは一生につながる。三年はあっという間に過ぎてしまうので充実した日々を過ごせるかどうかはあなた次第！いつでもいつまでも応援するからしっかり楽しんで！

追いかける母

一年保護者 高木 二葉

大きく生まれた子どもは親がその成長を追いかける、と聞いたことがあり

娘も例外ではなく、もう歩いた！もうこんな絵が描けるの？お友達と文通してる？など、小さなころから「もうこんなことができるの？」の連続です。発表会の劇「三びきのやぎのがらがらどん」を家で全て演じて家族をびっくりさせ、楽しませてくれたこともありまし

た。同じ作家の本が読めるようになって感想を言い合えるようになり、はつと我に返れば娘はもう高校生。ずっと入学を夢見ていた東高に合格し、新しい友達もできて、毎日楽しく登校しています。

楽しく登校といえ、小学校に入学したばかりの四月の日曜日、「今日も学校に行きたい。早く友達や先生と遊びたい」と言つて驚かされたことがありました。三つ子の魂百までとはよく言ったもので、楽しそうに登校する様子は小学一年生のときと少しも変わりません。優しく楽しい友達や先輩、そして頼りになる先生方、ご縁のあるすべて

の出会いをありがたう思います。成長し続ける娘を追いかける母の願いは、このままフルスロットルで駆け抜け、いろんなことに挑戦し、高校生活を満喫してほしいということ。そして

決めるのは自分

一年保護者 田中 啓子

「番号、あるよ。」

合格発表の当日、私は、少し遅れて友人と一緒に東高の校門をくぐっていた。感動の瞬間だった。今までの十五年間、いろんなことがあったけれど、こまめに成長してくれたことに感謝している。幼い頃より「やり始めたことは最後までやりきる」ということを言っていた。小学生の時は効き目があつたが、中学生になり、効果がなくなった。しだいに、自分のことを語らなくなつた息子。悩んだ時期もたくさんあつたと思う。不安もあつたことだろう。中学三年の一月になり、

「進路を変えてもいいか。」突然の告白に戸惑いしたが、決めるのは自分。そして、今こうして東高で学んでいる。少しは、母の「言葉」の効果があつたのかなと思う。悩むことはこれからたくさんあると思うけれど、悩んで悩んで今この時を生きてほしいと願っている。

小・中と続けてきた野球をやめ、現在、ボート部で活動している。自分で決めたことだから、母はいつでもあなたを応援しているよ。

今を大切に、そして未来へ

一年保護者

我が子は、進学先に迷いに迷いましたが、進路を決めてからは、自分の目標に向けてコツコツと努力を重ねていました。念願の高校合格。充実した高校生活を送れるよう自分を律し、頑張つて欲しいと思います。

我が子に対して伝えたいことは、まず、高校生活三年間は、あつという間に過ぎてしまうということ。緊張の一年生。余裕ができ、充実する二年生。進学、就職に向けて自分と向き合う三年生。概ね、過ぎ去った後に気付くものです

が、この三年間は今後の人生の中で一際輝く年代になるでしょう。そうなるよう学習、部活動等、限られた時間だからこそ手を抜かず、惜しみなく力を発揮してほしいと思います。後に後悔することが無いように。

そして、良き友人を作ってください。苦しい時は助け合い、嬉しい時は共に喜び合う、きつと生涯に亘る友人になるはず。卒業後、社会に出てからも先輩、後輩共に助け合う風土が東高にはあります。先輩の築いた伝統を受け継ぎ、より発展させ、後輩に繋ぐことができるよう鳥東魂を胸に、三年間を邁進してください。

子どもに向けて

一年保護者

中学時代は、夏休み最後になってから部活で膝を痛め、検査の結果、手術必要となり長期休みの冬休み入ってすぐに決定。約四ヶ月の間、怖く不安になるはずなのに面に出ていかなかったのは驚きました。リハビリもあり、部活に出れなく歯がゆい思いもしましたが、友達に恵まれ、充実した中学時代だったと思います。

高校に入り、初めての子たちで友達が作れるか不安がっていました。遠足で気の合う友達が出来て一安心しました。

勉強面では平日、休日自分で計画を立てて一応実行してやっています。と同時に、スマホをいじる時間も計画をたてればいいのですが。

中学三年間があつという間に過ぎたように高校三年間もあつという間です。何事にも悔いのないよう、充実した三年間を送ってください。見守る事しか出来ないと思うけど、陰ながら応援しています。

鳥取東高通信第一七八号/令和元年七月
編集・発行/鳥取東高等学校PTA
印刷/日ノ丸印刷株式会社